

平成 30 年度第 1 回地域密着型サービス運営委員会会議録

日時：平成 30 年 7 月 20 日（金） 14:00～16:00

場所：エコ計画浦和ビル 3 階 東会議室

1 出席委員

（敬称略）平野 方紹、花俣 ふみ代、上松 容子、金子 光子、西間木 幹子、
小川 みどり 大川 野英子

2 欠席委員

（敬称略）登坂 英明

3 事務局

介護保険課：石崎課長、百澤係長（司会）、我妻主任、神谷主事、佐々木主事
西区：小山課長 北区：松本課長 大宮区：浅見課長 見沼区：猪野課長
桜区：阿泉課長 浦和区：石留課長 南区：川角課長 緑区：高木課長
岩槻区：平野課長

4 議題

報告事項 6 件、協議事項 2 件

5 傍聴者

0 名

6 議事

（1）開会

- ・石崎課長より開会のあいさつ
- ・職員紹介（石崎課長、事務局職員、各区高齢介護課長）

（2）委嘱状の交付

- ・委員への委嘱状の交付

（3）委員長・副委員長の選出

- ・平野委員を委員長に、登坂委員を副委員長に選任

（4）【報告事項（1）】条例改正の報告

- ・さいたま市指定地域密着型（介護予防）サービスの事業の人員、設備及び運営の基準等に関する条例の主な改正内容について説明を行った。

(5) 【報告事項 (2)】 介護予防支援事業所の更新について

・平成30年4月1日付け指定更新を行った事業所の報告を行った。(22事業所)

(6) 【報告事項 (3)】 さいたま市第7期高齢者保健福祉計画・介護保険事業計画について

・資料(さいたま市第7期高齢者保健福祉計画・介護保険事業計画について)により、平成29年度(10月1日現在)の総人口、高齢化率、認定率、要介護認定者数については、30年度～32年度の見込みも併せて説明を行った。

サービスの整備状況に関しては、要介護者の人数と施設の定員から考えると施設サービスの整備は進んでいるが、地域密着型サービス事業所の数は足りていない。要介護者の在宅復帰をテーマとして、第7期においては、施設の整備を抑え、地域密着型サービス事業所の整備を進めていく計画である。

(7) 【報告事項 (4)】 地域密着型サービス事業者の指定等の状況

①定期巡回・随時対応型訪問介護看護

リハプライム株式会社が運営する「コンパス定期巡回」が平成30年7月1日に新規開設。「SOMPO ケアさいたま大宮東定期巡回」、「SOMPO ケアさいたま浦和定期巡回」が法人の吸収合併により平成30年7月1日に新規開設した。

②夜間対応型訪問介護は、1事業所が運営中。

③認知症対応型通所介護

社会福祉法人鴻鵠の会が運営する「おたっしゃ倶楽部 DC」が平成30年4月1日から再開。これは、平成29年度に公募選定された「地域密着型特別養護老人ホームおたっしゃ倶楽部」の選定条件であった休止中の認知症対応型通所介護事業所を再開することとしていたためである。

株式会社あすなるホームが運営する「あすなるホーム浦和」が平成30年7月1日に共用型を開設、メディカル・ケア・サービス株式会社が運営する「愛の家グループホーム岩槻城北」も同様に平成30年5月1日に共用型を開設。

④小規模多機能型居宅介護については、14事業所が運営中。

⑤認知症対応型共同生活介護に

株式会社リビングプラットフォームが運営する「グループホーム ライブラリななさと」が平成30年4月1日に新規開設しました。また、株式会社愛総合福祉が運営する「愛・グループホーム瀬ヶ崎」が平成29年12月1日に新規開設。

⑥地域密着介護老人福祉施設については、3事業所が運営中。

⑦地域密着型特定施設入居者生活介護については、1事業所が運営中。

⑧看護小規模多機能型居宅介護については、1事業所が運営中。

⑨地域密着型通所介護の指定等状況について（再開、変更）

【変更】「リハプライド七里てまり」から「ペディモアてまり」に「^{きわ}茶和デイサービス埼玉大学前」が「デイサービスアップル埼玉大学前」に名称変更。なお、「デイサービスアップル埼玉大学前」は名称変更後に廃止届を提出。

【再開】「だんらんの家 北与野」が平成30年4月1日から再開。

⑩市外事業所については6事業所を新規指定、4事業所を更新。

(8) 【報告事項(5)】 事業所の休止・廃止・移転について

【休止】定期巡回・随時対応型訪問介護看護事業所の「エースケアセンターさいたま北」が人員不足のため、平成30年度7月1日から12月末まで休止。

小規模多機能型居宅介護の「おたっしゃ倶楽部おおみや」が建物が消防法の基準に適合しなくなったため、平成30年4月1日から9月末まで休止。

地域密着型通所介護事業所の「デイサービスむすび」が経営判断により、平成30年4月1日から9月末まで休止。

【廃止】地域密着型通所介護事業所7事業所が廃止。

①「ハートバンク株式会社」が運営する、「デイサービスそらいろ」が事業所統廃合により平成30年2月28日付けで廃止。

②「企業組合労協センター事業団」が運営する「デイサービスいきいきはうす」が賃貸借契約の更新が不可のため、平成29年12月31日付けで廃止。

③「株式会社友愛ケアサービス」が運営する「上小町デイサービス友愛」が利用者がいないことを理由に平成30年3月31日付けで廃止。

④「株式会社ふじ介護」が運営する「デイホーム ふじの家」が経営悪化により、平成30年3月31日付けで廃止。

⑤「株式会社ウェルオフ」が運営する「デイサービスアップル埼玉大学前」が、事業所統合により平成29年12月31日付けで廃止。

⑥「医祉和会株式会社」が運営する「医祉和会」が人員不足のため、平成30年3月31日付けで廃止。

定期巡回・随時対応型訪問介護看護事業所1事業所が廃止。

⑦「株式会社日本生科学研究所」が運営する「日生定期巡回サービス浦和」が平成30年3月31日に人材確保と経営難のため廃止。

(9)【報告事項(6)】事業所開設の遅延及び変更等について

【遅延】医療法人青木会が開設予定の認知症対応型通所介護事業所の遅延について平成29年度に選定された、医療法人青木会が開設予定の認知症対応型通所介護事業所は、平成30年6月1日に開設予定であったが、建築資材の確保等が難航したことによる工期の遅れにより、平成30年8月1日開設としたい旨の報告書が提出された。現在指定申請の受付は完了しており、問題がなければ8月1日付での指定を予定。

リハプライム株式会社が開設予定の定期巡回・随時対応型訪問介護看護事業所について

平成30年4月に開設予定でしたが、事業の開設に伴うシステム導入に時間を要するため、平成30年7月1日開設としたい旨の報告書が提出され、平成30年7月1日付で新規指定。

【医療法人行徳会関連】

平成25年度選定の小規模多機能型居宅介護の「桜の宿」について、経営の立て直しとのことから指定辞退届出書が提出された。経営中のグループホームについては、経営を継続する。

【社会福祉法人春の木会の外部評価について】

平成29年4月1日に開設した、地域密着型特別養護老人ホームひなの槻平成25年度に公募選定された際に外部評価を毎年度受けることを選定の条件としており、別添のとおり報告されたものです。機能訓練等について低い評価であったことから今後の課題として対応するように伝えた。

【地域密着型特別養護老人ホームおたっしや倶楽部の平面図変更について】

平成29年度の公募にて選定した、地域密着型特別養護老人ホームおたっしや倶楽部の設備を変更したいとのことで届出。

【株式会社ジャパンケアサービスに係る法人の変遷について】

株式会社ジャパンケアサービスが親会社であるSOMPO ケアメッセージに吸収合併の予定であると報告がされた。平成30年4月1日付けでSOMPO ケアメッセージ株式会社からSOMPO ケア株式会社に法人の名称変更が行われたのちに平成30年7月1日にジャパンケアサービスがSOMPO ケア株式会

社に吸収合併された。法人変更に伴い、「SOMPO ケアさいたま大宮東定期巡回」及び「SOMPO ケアさいたま浦和定期巡回」として新規指定を行った。

【医療法人青木会のグループホームの図面内容変更について】

平成29年度に選定された、医療法人青木会が開設予定のグループホームについて公募申請時からの図面内容の変更の申し出があった。

(10) 【協議事項 (1)】

平成30年度さいたま市地域密着型サービス事業者の公募概要案について平成29年度末での整備状況及び第7期計画を基に作成した、公募案について、昨年度からの変更点、サービス及び圏域ごとの募集数、事業者選定までの日程の説明を行った。

(11) 【協議事項 (2)】

地域密着型サービスの事業譲渡等について

運営法人の吸収合併や事業の譲渡の相談等が増えてきているため、地域密着型サービスについての取扱いについて取り決めに協議した。

法人が変更となる場合分けとしては、吸収、分割の場合と事業譲渡が想定される。事業の継続性や利用者保護を条件として、運営法人の吸収と分割については、基本的に新規指定を認め、委員会への報告を行うように考えている。事業譲渡については、地域密着型サービスが公募選定している経緯を踏まえ、公募選定と同様の資料を確認後に、委員会へお諮りした後に事業譲渡の可否について決定したいと考えている。

【協議結果】

公募案及び事業譲渡等の取扱いに関して、承認された。